

科目名	情報システムのプログラムマネジメント	
担当講師	初田賢司	
分類	必修	
授業時間数（時間）	7.5	
授業形態	キャンパスでの対面講義	
授業の概要	プログラムは、JavaやCOBOLなどで書かれたソースコードのことではなく、プロジェクトの上位概念で「目的を達成するためにマネジメントする関連プロジェクトやサブプログラム、業務の集合」のことである。本講義では、複数のプロジェクト型の業務を全体統合して効率よく運営し、ビジネスの価値向上に結びつけるプログラムマネジメントの知識を講義と演習により習得する。	
特色とメリット	プロジェクトマネジメントの上級コース。 DX推進プログラムは、新事業の創出やビジネスプロセスの変革に結び付いて初めて成功と言える。PoC（Proof of Concept：実現性や効果の検証）や個々のプロジェクトの結果はマイルストーンにすぎない。一連の流れをプログラムとして定義し、コントロールするスキルを身に着けることによりDXを成功に導く。	
学習目標	本講義を通して受講者に以下のような知識・能力がつくことを目標とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト、プログラムの定義を説明することができる ・デジタルトランスフォーメーション(DX)における価値マネジメントの考え方を理解する ・プログラムマネジメントに必要なステークホルダーエンゲージメント、スコープマネジメントの考え方を理解する ・プログラムマネジャーとしてガバナンスを利かせる方法を理解する ・プログラムの計画時や実行時に適切なリスクマネジメントを講ずることができる 	
内容	プログラムマネジメントとは	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメントの潮流 PPP(プロジェクト、プログラム、ポートフォリオ)マネジメントとは ・プログラムマネジメントとは何か？ ・プロジェクト・ポートフォリオマネジメントとは何か？
	プログラムマネジメントの現場	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進プログラムの実際（演習） ・プログラムマネジャーとしてガバナンスを利かせる
受講の前提条件	ADPISA-Mの「価値を実現するためのプロジェクトマネジメント」の1日目を受講済み、もしくはPMIのPMP資格、情報処理試験のプロジェクトマネジャー資格などを有することを受講の前提条件とする	
事前学習	「受講の前提条件」を満たしていれば特になし	
事後学習	特になし	
参考文献・オンライン科目	特になし	